

おくすり Q&A

口唇ヘルペスについて

Q. 原因は何ですか？

A. 人に感染するヘルペスウイルスは8種類あり、その中の1つである「**単純ヘルペスウイルス1型(以下HSV-1)**」と呼ばれるウイルスが原因で起こります。主な感染経路は、頬ずりやキスなどの人から人への直接的な感染と、ウイルスが付着したタオルや食器など物を介した感染です。多くの場合子どもの頃に初めて感染しますが、この時は無症状のことが多く、気づかないことが多いです。また、一度感染するとHSV-1が神経節と呼ばれる神経の集まりに潜み、**ストレスや風邪などで体力や免疫力が弱くなった時にHSV-1が再活性化し再発する**という特徴もあります。



Q. どのような症状が出ますか？

A. 再発の際、以下のような経過を辿ります。個人差はありますが治癒には7～10日ほどかかります。

- ① 前駆症状…皮膚にピリピリ、チクチクといった違和感やかゆみや熱をもった感じ、痛痒いなど
- ② 発症期…前駆症状が現れてから数時間で違和感のある部分が赤く腫れる
- ③ 水ぶくれの形成…2～3時間後には小さな水ぶくれが多数できる
- ④ 回復期…水ぶくれは1週間ほどでかさぶたになりはがれる

*特に初感染時には症状が重く出ることがあります。



Q. 治療にはどのような薬が使用されるのですか？

A. **抗ヘルペスウイルス薬**を使用します。症状や出たタイミングによって飲み薬、塗り薬を使い分けます。治療の中心は飲み薬(成分名: ファムシクロビル、バラシクロビル、アシクロビル)です。HSV-1の増殖が盛んな初期に用いると特に効果的で、体内のウイルスにも効果が高いことが特徴です。塗り薬(成分名: アシクロビル、ピダラビン)は皮膚に出てきたHSV-1にのみ効果があるため治りかけや症状が軽い場合に効果的です。塗り薬は一般用医薬品としてアクチビア軟膏[®]、アラセナS軟膏[®]・クリーム[®]、ヘルペシアクリーム[®]が発売されており再発の対策として病院を受診しなくても治療可能となっています。ただし、**【過去に医師の診断・治療を受けた方に限る】**という条件付きのため注意が必要です。

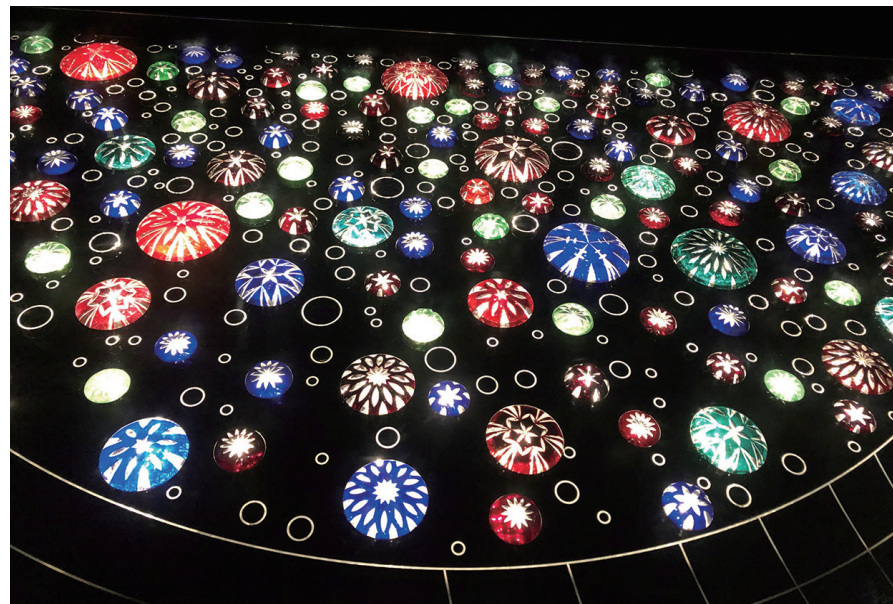
Q. 日常生活ではどのようなことに注意すればいいですか？

A. **神経節の中にいるウイルスを完全に排除する方法はありません**。唇にピリピリやムズムズといった違和感を感じたらすぐに病院を受診したり薬を使用したりして対処しましょう。予防法としては疲れやストレスをためず、睡眠不足、体調不良に気をつけて規則正しい生活を送りましょう。また、症状が出ている時は人にうつさないために他人とタオルやコップは共有せず、水ぶくれの部分は触らせないようにしましょう。悪化を防ぐために紫外線や飲酒を避けるようにしましょう。

執筆薬剤師 根岸 世利那

わたしの健康とくすり

第343号



今月の内容

- ・疾患シリーズ **身近な感染症【連載・第5回目】ウイルス感染症(後編)**
- ・ちょっとお耳を…… **経口補水液ってなあに？**
- ・おくすり Q & A **口唇ヘルペスについて**

2024年8月発行

発行者 **八王子薬剤センター 橘 隆二**
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 **八王子薬剤師会**

疾患シリーズ 身近な感染症《連載・第5回目》

ウイルス感染症〈後編〉

前回は身近なウイルス感染症〈前編〉を紹介しましたが、今回は身近なウイルス感染症〈後編〉を紹介します。

2) 呼吸器感染症(主な原因ウイルス)

- かせ症候群(種々のウイルス)▶ 鼻汁や鼻閉などの鼻症状と咽頭痛が主体であり、加えて発熱や頭痛、倦怠感などがあります。炎症が下気道まで波及すると咳、痰などの症状が出現します。
- インフルエンザ(インフルエンザウイルスA型、B型)▶ 突然の悪寒、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などに次いで、咳、鼻汁などの上気道症状が生じ、1週間程度で軽快します。

3) 消化器感染症(主な原因微生物)

- ノロウイルス胃腸炎(ノロウイルス)▶ 秋から冬にかけて流行し、嘔吐、下痢、発熱を主症状とする胃腸炎です。感染力が非常に強く、感染者からの二次感染が起こりやすくしばしば集団感染します。自然界では、カキなどの2枚貝の中で蓄積されることがあり、感染源となることがあります。
- ロタウイルス胃腸炎(ロタウイルス)▶ 冬から春先にかけて流行する胃腸炎です。生後6か月から2歳までの発症が多く、5歳までにはほとんどが感染の既往を持ちます。白色水様性(コメのとぎ汁様)下痢や嘔吐、発熱が数日間続きます。

4) 血液媒介感染症(主な原因微生物)

- 後天性免疫不全症候群(AIDS)(ヒト免疫不全ウイルス:HIV)
HIV感染からAIDS発症まで、数年~10年前後を要します。性感染、血液媒介感染(輸血、注射器・注射針の共用、医療現場における針刺しなど)、母子感染(出産時の産道感染、母乳保育による感染、経胎盤感染)によって伝播します。

5) 皮膚・軟部組織感染症(主な原因微生物)

- 単純ヘルペス(単純ヘルペスウイルス)
単純ヘルペスウイルス1型または2型の感染や潜伏ウイルスの再活性化により、ヘルペス性歯肉口内炎、口唇ヘルペス、角膜ヘルペス、性器ヘルペスなどを引き起こします。

6) 感覚器感染症(主な原因微生物)

- 流行性角結膜炎(はやり目)(アデノウイルス)
充血、大量の眼脂、まぶたの浮腫、流涙を伴います。感染力が強く、感染者の手指などを介した直接的な接触と、タオルや器具を介した間接的な接触の双方が感染源となります。
- 咽頭結膜熱(プール熱)(アデノウイルス)
主として夏に流行する発熱を伴う急性咽頭炎です。人から人、プールの水などを介した接触感染で伝播します。

次回は抗生物質・抗菌薬の歴史について紹介します。



ちょっとお耳を……

経口補水液ってなあに？

暑い時期になると経口補水液がお店の目立つ場所に陳列されているので皆さんも目にする機会が増えているかと思えます。経口補水液はどんな時に飲むのが正しいのでしょうか？

● 経口補水液とは

経口補水液は、脱水時に体内から失われた水と電解質(ナトリウムやカリウムなどのミネラル)を小腸で素早く吸収できるように、水・電解質・ブドウ糖等の配合割合を考えて作られたものです。日常的に使用するのではなく、**感染性胃腸炎による下痢・嘔吐**に使用することが推奨されています。(脱水を伴う熱中症に使える経口補水液も一部あります。製品のパッケージを確認しましょう。)経口補水液は健康な方が口にすると少ししょっぱく感じますが、脱水状態になっていると無味あるいは甘味を感じるようです。現在はゼリータイプやフレーバーのついたものも販売されているので以前と比べると飲みやすくなっています。

★ 注意点 ★

経口補水液はナトリウムやカリウムを含むため、摂取の制限を受けている高血圧の方や腎機能低下を指摘されている方は医師・薬剤師に相談してください。また、糖質も含むため糖尿病の方は注意しながら飲みましょう。

● スポーツドリンクとの違いは？

経口補水液は**スポーツドリンクと比べて電解質濃度が3~4倍高く、糖分は少ない配合**になっており、素早く水分と電解質を吸収します。日常生活における水分・電解質補給にはスポーツドリンクで十分ですが、軽度から中等度の脱水症には経口補水液が適しています。スポーツドリンクは経口補水液と比べ、糖分を多く含むため口当たりは良いですが、**ペットボトル症候群(清涼飲料水ケトosis)**に注意が必要です。水の代わりに多量に摂取すると急激に血糖値があがります。血糖値があがると喉が渇くので更にスポーツドリンクを摂取するという悪循環となります。他にも尿量が増える、疲れやすい、だるさや吐き気などの症状がみられ、重症になると意識がもうろうとし命の危険にかかわる可能性もあるので注意が必要です。全ての水分補給をスポーツドリンクでまかなおうとするのはやめましょう。

★ 経口補水液は家で作れます！ ★

【材料】

- ・水 500ml ・砂糖 20g ・塩 小さじ 1.5g
- ・レモンやグレープフルーツなどの果汁
(果汁を入れることで少し飲みやすくなります)

★ 自宅で作成した経口補水液は冷蔵庫で保存し1日で飲み切りましょう★



(引用：警視庁HP、消費者庁HPより)